

真光寺中学校

2024 年 2 学期期末テスト

2 年英語 解答解説

- ・ この解説は個別学習塾^{フォーカスワン}FOCUS01が作成したものです。
- ・ 定期テストの復習用としてご使用ください。
- ・ 現在 FOCUS01 にお通いでない方でも使用可能です。
- ・ 問題用紙は自身でご用意をお願いいたします。
- ・ 内容に誤りがあった場合は、訂正の上、再度アップロードいたします。
- ・ FOCUS01 では無料体験授業を実施中です。もしご興味ございましたら、
当塾ホームページか公式 LINE からお気軽にお問い合わせください。

[1]のリスニング問題については音源がないため、省略します。

[2]

(1) イ

直後に Kazu が No, I didn't. と答えていることから、選択肢はイかオになります。
直後に Paul が病院に行くべきとアドバイスとしていることから、
(1)の内容も病院に行くと同じような内容と考えられるため、イが正解です。

(2) エ

Paul の病院に行くべきというアドバイスに対して、
クラブのミーティングがあると返答しています。
(2)の後に Paul が状況を説明してあげると返しているため、
選択肢の中ではエが正解です。

(3) ア

残った選択肢の中では Kazu を気遣う言葉が入ると考えられ、アが正解です。

[3]

(1) イ

下線①の直前に They think summer vacations in Japan are not good. とあり、
これが that の内容と考えられます。
よって、イが正解です。

(2) ウ

日本語訳すると「生徒は宿題をまったくやる必要がない」となります。
(ウ)の直後に I got lazy every summer and had to learn many things again. とあり、
夏休み中に勉強をしなかった結果として悪いことが書かれています。
直前の How about in the U.S.? からも、
アメリカの生徒は夏休みに宿題をやる必要がないから、
その後の勉強が大変になるとなり、自然な流れになります。

(3)

① ア

質問文を日本語訳すると「日本の生徒は夏休みに何をしなければいけないか」となります。

ア：彼らはレポートを書かないといけない。

→8行目で Kaori が We have to write a report, too.と言っています。

We は日本の生徒のことを指しているなので、これが正解です。

イ：彼らは驚かないといけない。

→9行目で Jim が I was surprised.と言っているだけで、日本の生徒は関係ありません。

ウ：彼らはアメリカの友人と話さなければいけない。

→3行目で Jim が I was talking to my friends in the U.S.と言っているだけで、日本の生徒は関係ありません。

エ：彼らは夏休みの後に多くのことをまた学ばないといけない。

→11行目で Jim が I got lazy every summer and had to learn many things again.

と言っていますが、これはアメリカの生徒についての説明です。

②ウ

質問文を日本語訳すると「なぜ Jim は驚いたのか」となります。

下線部③の直前で Jim が We also have to go to club activities every day.

と言っていることから、勉強だけでなくクラブ活動も毎日していることに驚いたと考えられます。

よって、ウが正解です。

[4]

(1) イ

Can you に続けるには動詞の原形を入れる必要があります。

(2) イ

many の直後にくるので、可算名詞がきます。child の複数形は children です。

(3) ア

助動詞 will の直後には動詞の原形がくるので、win か travel にしぼれます。
the game に続けるには win が適切です。

(4) ウ

an emergency bag(非常持ち出し袋)に続けるには preparing(準備する)が適切です。

[5]

(1) Does / have

(2) have / play

(3) don't / think

[6]

(1) should / post

should 動詞の原形で「～すべき」という意味になります。

(2) to teach

「英語を教えるために」とあるので、to teach English となります。

(3) about / experience

about～で「～について」となります。

(4) am / to

感情を表す形容詞の直後に不定詞を持ってくると「～して(感情)だ」という意味になります。

[7]

(1) イカオウエア

I think that Yuko is happy.

接続詞 that を使って、「ユウコは幸せだ(ということ)」
という1つの名詞のかたまりを作ります。

(2) ウオアイエカ

You must not listen to music here.

must not 動詞の原形で「～してはいけない」という禁止の意味になります。

(3) エイオアウカ

Kei can't stay away from the building.

stay away from～で「～から離れる」という意味になります。

(4) エイウアカオ

I didn't pay attention to the question.

pay attention to～で「～に注意をはらう」という意味になります。

(5) アクエウカオイキ

Akito will be able to eat a lot of tuna.

2つの助動詞を一緒に使えないというルールから、will と can を並べて書けません。
そこで、can を be able to に書き換えます。

(6) カオアエイウ

You studied English hard, didn't you?

「～ですよ」といった確認の意味を付け加える疑問文を付加疑問文といいます。
肯定文の付加疑問文は、「,」の直後に動詞を否定形にかえたものをおき、
主語の代名詞をおき、最後に?をつけます。
今回は studied→didn't You→you となります。

(7) エウアオカイ

I helped Emi because she was busy.

I が先にきているので、「私はエミを手伝いました」を先につくり、
その後接続詞 because を使って「彼女は忙しかったので」をつくります。

[8] 省略

[9] 省略